

知床五湖地区における取組の進捗状況について

トピック

1. 2021年度の利用調整期間（4/20～11/8）の地上遊歩道立入認定者数は47,147名（前年比108%）で、コロナ禍前より微増。コロナ禍前と比較すると7割程度の入込状況。2022年度は9月末の段階で、40,534名。（図1）
2. ヒグマ活動期（5/10～7/31）に注目すると、2021年度は7,199名（前年比171%、コロナ前の5割程度）であるが、2022年度は10,511名（前年比145%）となり、徐々にコロナ禍前の数字に戻りつつある。（図1）
3. 地上遊歩道におけるヒグマ遭遇件数について、2021年度は56件（ヒグマ活動期45件、植生保護期11件）、ツアー中止件数は7件と、前年と同数かそれ以下で、比較的安定して地上遊歩道が供用された。2022年度については、ヒグマ活動期は過去2年と同程度であったが、植生保護期は9月以降ヒグマとの遭遇が頻発し、閉鎖の割合が昨年より大幅に高くなっている。（図2）9月の遭遇件数が33件で、9月としては制度開始以来最多。一方で、2021～2022年度（9月末時点）ともに地上遊歩道での利用者とヒグマとの危険な遭遇事例はない。
4. 地上遊歩道の再整備について全区間が完成し、2022年度より供用を開始。（北海道で整備後、環境省に移管）
5. 2021年度、五湖駐車場から高架木道に誘導するための看板を設置。（環境省）
6. 2022年9月より老朽化していたろ過機設備の更新工事を開始。（斜里町）

1. 知床五湖利用調整地区制度の運用 [運用期間：4月20日～11月8日]

- ・トピック1～3を参照。

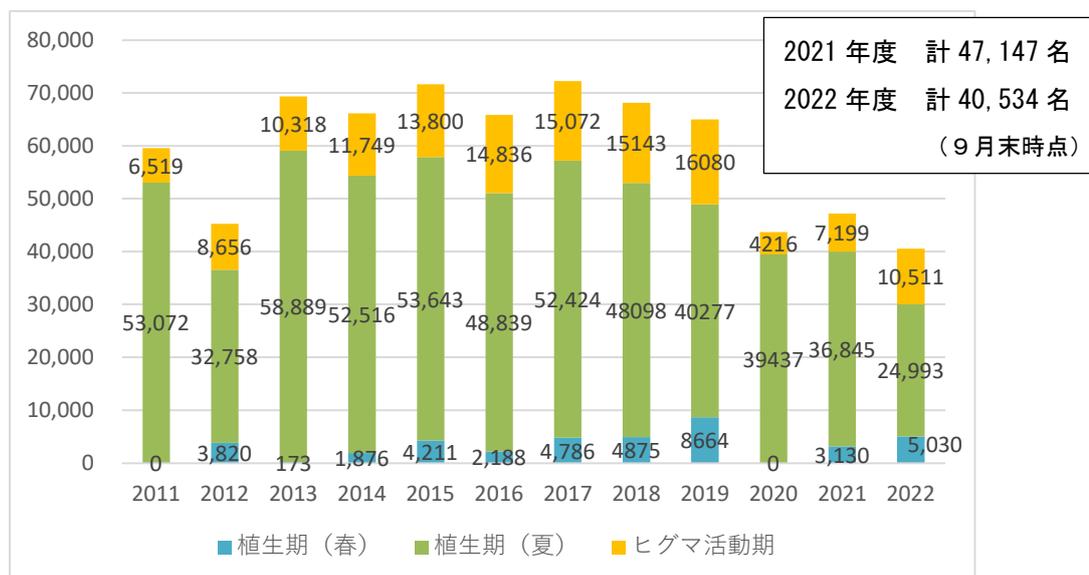


図1. 制度運用期間の立入認定者数の推移(人)

表1. 地上遊歩道におけるヒグマとの遭遇件数、中止件数

	ヒグマ遭遇状況																							
	地上歩道遭遇件数 ^{*1}											ツアー中止件数												
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
植生保護期（春） 開園～5/9	-	1	0	0	5	1	0	2	11	-	0	1												
4月計（開園～4/30） ^{*2}	-	0	0	0	1	1	0	1	7	-	0	0												
5月計（5/1～9）	-	1	0	0	4	0	0	1	4	-	0	1												
ヒグマ活動期 5/10～7/31	27	59	13	17	44	46	30	119	186	45	45	48	24	39	3	3	13	6	14	25	25	7	7	9
5月計（5/10～31）	3	1	2	3	2	4	3	1	6	1	1	7	3	0	0	0	0	1	1	0	3	0	0	5
6月計	5	14	8	5	12	14	1	34	42	9	13	20	4	9	2	2	2	2	1	11	3	2	3	2
7月計	19	44	3	9	30	28	26	84	138	35	31	21	17	30	1	1	11	3	12	14	19	5	4	2
植生保護期（夏） 8/1～閉園	7	24	8	7	24	2	14	13	22	29	11	40												
8月計	2	10	2	3	7	0	9	5	9	5	5	7												
9月計	0	7	3	1	13	2	1	2	7	9	6	33												
10月計	5	7	3	3	4	0	4	6	6	15	1													
11月計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0													
総計	34	84	21	24	73	49	44	134	219	74	56	89	24	39	3	3	13	6	14	25	25	7	7	9

*1 高架木道からのヒグマ目撃による地上遊歩道閉鎖は含まない。

*2 2020～2015年は4/20開園、2014年は4/18開園、2013年は4/19開園。

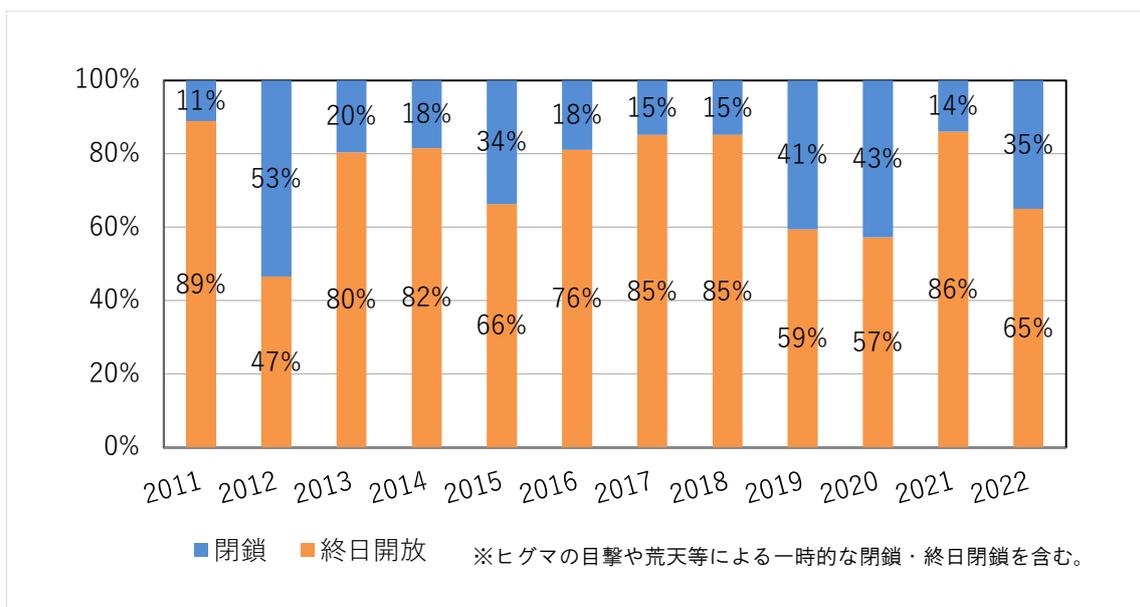


図2. 地上遊歩道の開閉状況 (%)

- ・ガイド協議会による小ルートツアー及び当日受付サービスについて、引き続き実施。
- ・今期より、小ルートツアーの事前予約制を導入し、実績は611人であった。
- ・今期より、多様なニーズ（高齢者、子供連れ、プライベートツアー等）にも対応できる小ルートツアーの増枠を目指し、試行枠を設けてツアーを実施。実績としては13組のツアー、参加人数は83人であった。来年度も実施予定。
- ・新型コロナウイルス感染症対策は、昨年と同様に実施。2021年度の緊急事態宣言期間中は、開園時間の短縮や施設閉館対応とし、高架木道など屋外の利用に限定して運用。（5/17～5/21 時短、5/22～6/20 閉館、8/27～9/30 時短）

・2021年7月中旬に五湖駐車場付近および高架木道入口付近にヒグマが滞留し、厳戒態勢を敷いたケースが頻発した。対策強化として、駐車場の電気柵を追加設置した（2021年度は斜里町、2022年度より環境省）。ただ、2022年7月30日にも、五湖駐車場内にヒグマが侵入する事案が発生。厳戒態勢を敷き、現場スタッフにて利用者の安全確保、避難誘導を実施。ケガ人は出なかった。



図3. 知床五湖の電気柵位置（赤線が新規設置部分）

・2021年度の知床五湖駐車場の利用車両台数は、乗用車 41,278 台（前年比 104%）、バイク 2,928 台（前年比 118%）、マイクロバス 116 台（前年比 154%）、大型バス 576 台（前年比 79%）で、団体利用は伸び悩んだ一方、キャンピングカー等での個人利用が多かった。2022年度の数値詳細は集計中であるが、現時点の傾向としては、昨年と比べて観光バスによる団体利用も大幅に増えたものの、個人利用が多くなっている。

2. 知床五湖地上遊歩道の再整備状況（トピック4を参照。）

2019年度から実施していた地上遊歩道の再整備について、全区間完成。



写真1. 二湖合流地点(P)の新展望デッキ



写真2. 三湖(J-K)の新展望デッキ

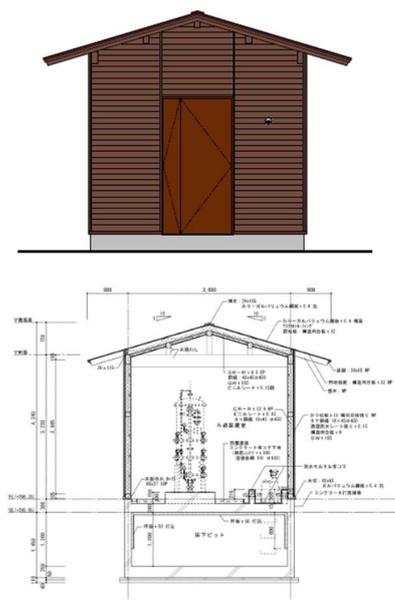
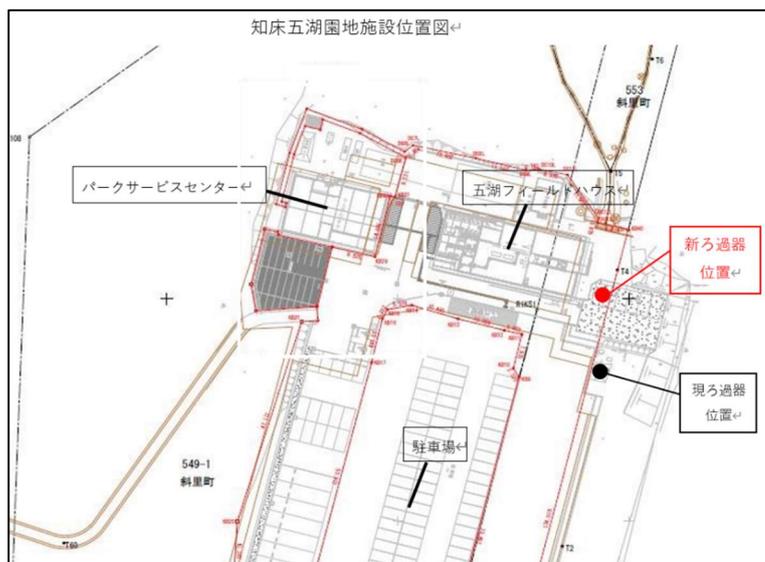
3. 知床五湖園地誘導標識設置工事（トピック5を参照。）

高架木道への入口が分かりにくいとの声を受け、駐車場から高架木道へ誘導するための看板を設置。



4. 知床五湖園地ろ過浄水施設更新工事（トピック6を参照。）

知床五湖パークサービスセンター及び知床五湖フィールドハウスへ飲用水を供給している「ろ過浄水設備」の老朽化が激しく不具合も生じていることから、設備の更新を実施中。



5. 知床五湖の利用のあり方協議会、登録引率者審査部会の開催状況

- 第35・36回、知床五湖登録引率者審査部会：2021年12月1日・2022年1月18日
 - ① 既存引率者の研修カリキュラムや試験審査方法について一部見直し、今期より運用。
 - ② 新規引率者について募集の再開が決定。現在5名の新規養成者が研修中。
 - ③ 大・小ループツアー枠について増枠の方向で見直し、今期から現行制度（1日最大500名（1日最大45ツアー）、1時間あたり7団体等）の範囲内で、試験運用開始。
- 第43回知床五湖の利用のあり方協議会：2022年3月24日
 - ・ 8月以降の開館時間について、7時半から8時に変更となった。（園地全体で統一）
 - ・ 知床五湖の利用適正化計画モニタリング実施計画案について協議され、大枠が確定した。うち、植生・歩道状況調査については、歩道ルートが変わったため調査地点を見直すこととしている。今後、湖面のスイレン等の外来種についても調査予定。